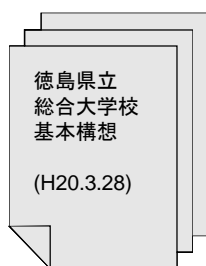


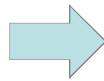
「まなびーあ徳島」新たな10年の展開に向けて

徳島県立総合大学校
平成29年3月

「まなびーあ徳島」は、平成30年6月に開校10周年を迎えます。



基本構想策定委員会の審議を経て策定



① 21世紀を担う人材創造に向けた「県民“まなび”拠点」

② 高等教育機関、企業、NPO法人、住民、行政など多様な主体とのパートナーシップによる運営

③ 誰もが主体性を持って参画できる「ユニバーサルな大学校(まなびや)」

④ 生きがいと地域社会への貢献につながる生涯を通じた学びへの支援

基本理念



平成20年6月8日「まなびーあ徳島」開校記念式典



開校以来8年、“まなびーあ徳島”は拡大・深化しながら、確かな歩みを進めてきました。



まなびーあ人材バンク 登録者数505名

とくしま学博士 論文発表会 認定者数61名

本部主催講座

語学講座

体験型講座

南部校・西部校を中心に多彩な体験型講座を実施

この間、「生涯の学び」を取り巻く社会環境や県民ニーズは大きく変化しています。

人口減少・超高齢社会の進展

人口減少と超高齢化社会の進展をうけ、「活力ある暮らしやすい地域づくり」につながる生涯学習の重要性が、これまで以上に高まっている。



ICT講座

多様な人材交流と移住者の増加

「二地域居住」「徳島ゆかりの高齢者の移住」など新たなスタイルによる「とくしま帰郷」のもとでの多様な人材交流、移住者の増加が見込まれる。



歴史教養講座

大学の地域貢献活動の活性化

大学など高等教育機関による地域貢献活動や、地方創生につながる地域貢献人材育成(COC+事業など)が活発化している。



大学生の長期インターンシップ

新たな社会教育の重要性の高まり

18歳成人を見据えた消費者教育やエシカル消費の普及など、新たな社会教育の重要性が高まっている。

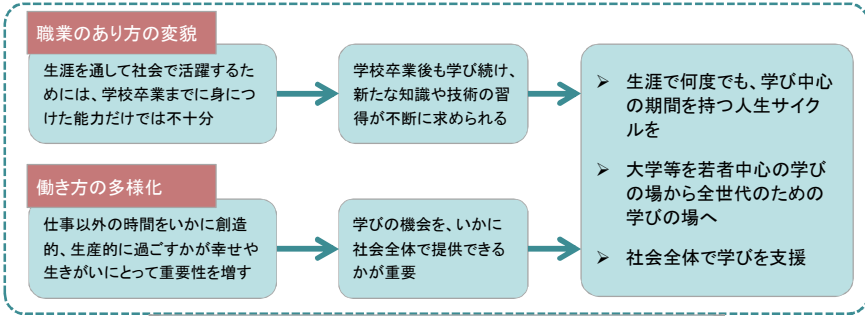


消費者庁の業務試行



一方、国においても、社会環境の変化を踏まえ、「学び続ける社会」に向けた在り方について、新たな方向性が示されています。

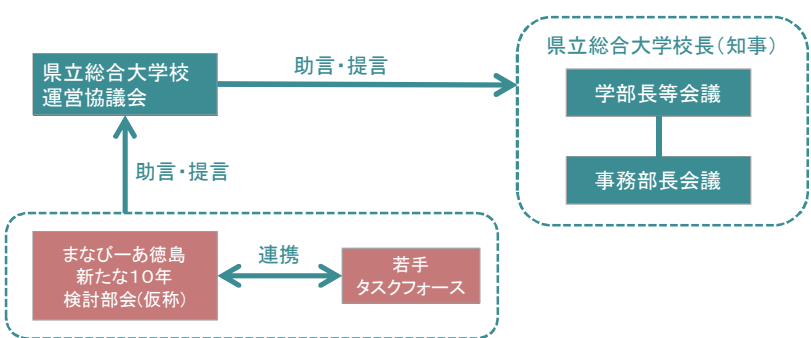
「学び続ける」社会、全員参加型社会、地方創生を実現する教育の在り方について
 <H27.3.4 教育再生実行会議 提言>



多様な全ての人が、都市でも地方でも、学び、輝き続ける社会へ

- 「学び続ける」社会
- 全員参加型社会
- 地方創生を実現する教育

そこで来年度、「まなびーあ徳島」の今後10年の新たな展開について検討することとします。



- ✓ 「新たな学びのスタイル(仮称)」を策定
 <新たな10年に向けた県民まなびの指針>
- ✓ 10周年記念事業の企画案策定
- ✓ 検討部会委員は、運営協議会委員と専門委員で構成

